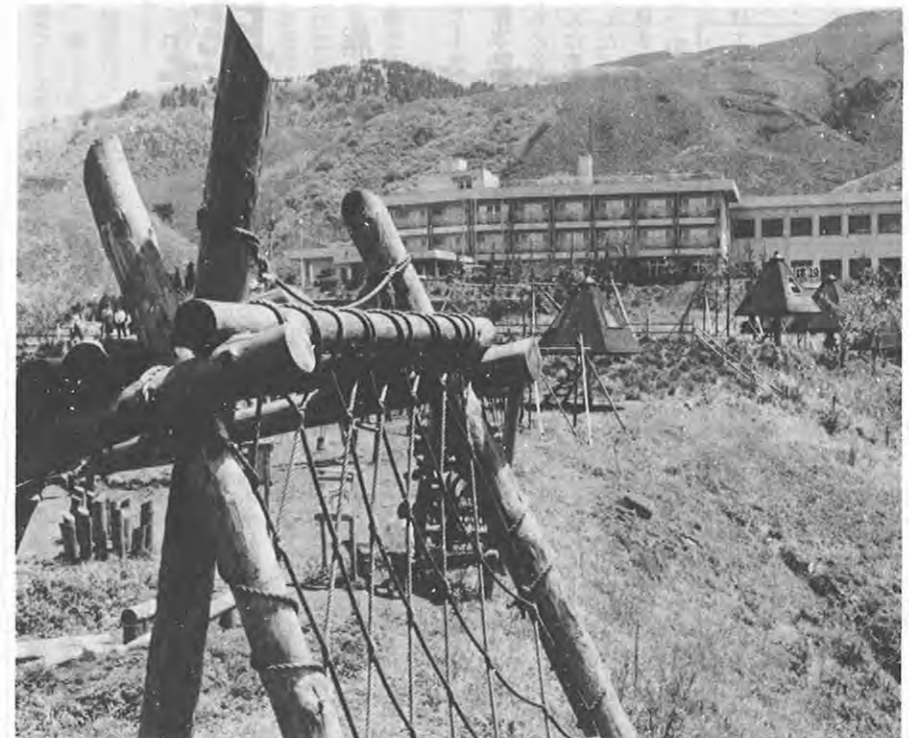


施設紹介

やまなみ荘

職員研修館



新しく登場したアスレチック（やまなみ荘）

地方共済組合の宿泊施設として発足した「やまなみ荘」は、組合員の皆さんの要望に応え順次施設を整備して参りました。今日では単なる宿泊施設としてではなく、野外活動や研修の施設としても十分整備され、組合員はもとより広く県民の利用に開放されています。

宿泊施設

雄大な自然と静寂な環境と相まって、全国各地から当地を訪ねる人は年に増加しております。特に天然の豊富な湯量をたたえる風呂が喜ばれています。又、鯉の生き造り、鯉こくを初め山菜料理が賞味できます。

宿泊室 十六室、定員五十名

フィールドアスレチック

野外活動施設として昭和五十二年九月オープン以来、適度な運動と娯楽性が受けて大変な賑わいです。公認コースとしての十分な設備はもちろん、二万坪を越す広大な敷地での多様な活動ができるのは、他に類を見ないところです。三十ポイント一回り約二時間です。

職員研修館

近代的設備を備えた本格派の研修施設が昭和五十三年三月開館しました。この施設は県職員だけに限らず市町村職員、団体職員更に一般県民のグループ研修や会議の利用に供しています。視聴覚器材

ヤステレオ装置を備え多面的な利用を期待しています。

その他の施設

野外宿泊施設としてマンジュルームキッチン四棟（一棟四人まで）があり、共同炊事場を利用しての楽しいキャンプが楽しめます。又、焼肉専用の炉端焼ができるしょう酒山小舎（一棟一〇人まで）を利用していただくのも風趣があります。

- 第一研修室（1階） 定員八十名
- 第二研修室（2階） 定員二十六名
- 第三研修室（2階） 定員二十二名
- 応接兼事務室（2階）
- 教材準備室（1階）

各施設の利用申込み先

阿蘇郡長陽村長野字吉岡
地方職員共済組合阿蘇保養所

やまなみ荘

TEL 09676-7-0645



このコーナーは県出身者で各界で活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。

熊本辯はむしろ

使った方が

作家 森

敦

皇居の外堀を見おろした市ヶ谷の閑静な住宅街に囲まれた洋風の館がある。

「おかげ様で世に知られるようになってから、いろんなふるさとで錦を飾っています。」六十歳をこえて芥川賞を受賞した森さんは、とても若々しく、厳しい冬の「月山」

にこもった人とは思えない。最近では、テレビや講演等にひっぱりだこの毎日である。「熊本人はフルに熊本の性質をひきだし、むしろ熊本弁を使った方が」と話してくれた。

天草郡苓北町出身、京城中・旧制一高中退 明治四十五年一月二十日生れ、六十六歳、主な作品には「月山」四十九年第七十回芥川賞、「鳥海山」等がある。現住所 東京都新宿区市ヶ谷田町3-10

いろんなふるさと

僕は、明治四十五年一月二十二日熊本県天草郡富岡町（現苓北町）に生まれたというんだけど、母親から聞いているところでは、一月二日に長崎で生まれたんだと、だど両親が富岡の人間ですから籍は熊本にはいつているわけです。僕が世に知られるようになった時、本当は長崎生まれらしいというので長崎に呼ばれて大変な歓待を受けたことがあります。そしたら、実際は熊本だというわけで、教育団体等に呼ばれて非常によくして頂いたわけです。

物心ついた時は、朝鮮（当時）の京城（当時）にいたんです、だから、「我が心の故郷は韓国のソウルである」と演説したので、当時の首相から招待状がきまして大歓迎を受けました。

苓北の森実町長は親類です、子供の時には非常に可愛がってくれました。朝鮮から絶えず帰っていましたから、そういうわけで兄弟みたいな感覚を持っているわけです。

勿論、熊本の方にも出たことがありますから、朝鮮館を売っていることも知っています。あの羽二重みたいな柔らかい館を朝鮮館といってますけど、熊本にしかないんです、何が故に朝鮮館といっているのかからんのですよ。